



市内企業とタッグを組む「直高フェア」

毎年、多くの市民や来場者で賑わいを見せる直方高校の「直高フェア」。今年は、6月5、6日に開催されました。このイベントの大きな見どころの一つが、直方市内の企業や事業者と生徒たちが力を合わせて創り上げる「地域連携ブース」です。

生徒たちは企画段階から参加し、地元企業が誇る魅力的な商品や技術、地域の食を活かした協賛販売や体験ブースの運営に挑戦。高校生ならではの柔軟な発想と明るい笑顔で、来場者へ直方の魅力を力強く発信しています。

単なる学校行事にとどまらず、地域の事業者と直接関わり、協働してイベントを盛り上げるこの経験は、生徒たちにとって社会の仕組みや商売の面白さを肌で知る貴重な学びの場です。若い熱量と地元の産業がひとつになり、直方の街に新たな賑わいと笑顔の輪を広げています。

地域とつながる、「直高」の挑戦!!

各部活動や生徒会が主体となり、地域と深く結びついた活動を展開しています。運動部による小・中学生への技術指導や大会の会場運営サポートをはじめ、文化部も市内のイベントでの演奏や美術・書道パフォーマンス、伝統文化の普及を通じて地域の賑わいに貢献しています。

さらに、ボランティア活動や福祉行事への協力、地元企業との商品開発、商店街との協働や最新技術を活かした体験企画等、多角的なアプローチで地域課題に向き合っています。これらの連携を通して、生徒たちは日頃の学びを現場で実践しながら豊かな人間性を育み、活気ある地域づくりを支える一員として成長を重ねます。

今回取材した、スポーツ科学コースは、今秋10～11月頃に、市消防本部による、救急救命法講習を受講予定です。救命に関する知識や技術の習得を通じ、今後は、スポーツ支援のみならず地域の安心・安全に寄与する実践的な学びに取り組んでいきます。

直方高校では、「地域社会との協働を通じて学びを深める教育活動」を推進しています。地域での学びや出会いが、生徒たちの大きな糧となります。街の仲間として、温かい声かけやご協力をお願いします。



地域を支え、街を元気にする「学び」の現場へ

直方高校は「地域との関わりを大切にし、地域を支え、地域の活性化に貢献できる人材を育成する学校」というスクール・ミッションのもと、こどもたちの体力向上や地域イベントの活性化等、さまざまな場面で市と連携を深めています。

今回の特集では、スポーツの日に合わせて、「普通科スポーツ科学コース」の生徒たちが日頃の学びを地域との関わりへ活かす取り組みや、地元企業とタッグを組んだ「直高フェア」での挑戦を取材しました。街の未来を担う高校生たちの躍動と、地域との温かい繋がりをお届けします。



小学生の「できた!」を応援!

スポーツ科学コースでは例年、「小学校・高等学校連携事業小学校体力テスト補助」を実施しています。生徒たちが市内の小学校を訪れ、授業で学んだ知識や技術を活かし、測定サポートや投げ方・走り方のコツを指導しています。

令和7年度は、総合的な探究の時間と連携し、こどもたちの体力低下の課題解決に向け直方東小学校でドッジビー※等も実施してきました。スポーツを通じ、世代を超えた笑顔の交流が広がっています。

※ドッジビーとは、ウレタンやフリスビー状のソフトディスクを使って行うドッジボール形式のニュースポーツのこと。

